

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会
発行者 多田 丈夫

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 日公連鈴木ビル5F
電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~totaikou/>

桜が美しく咲き誇り、上野の森が躍動感あふれる季節になりました。上野公園の不忍池を挟んで連なる桜のトンネルを抜けると退職校長会の事務局に着きます。私の好きな通いなれた道です。今、事務局は、未来を見据えた創造的な組織の構築と業務内容の全面的な「見直し元年」と位置づけた今年度の活動の反省と五月十日の定期総会に向けての準備に動き出しています。



私は先輩の急逝で急遽、福利厚生部に所属し、十五年が過ぎました。初めは、福利厚生部の仕事を夢中で覚え、ただただ続けてきました。その間、各支部から発行される支部だよりや各支部のイベントやクラブ発表会に伺うことから会員の真剣に活動している姿を見ることができました。写真・絵画・音楽・詩歌の発表や小説を書き本を発刊したり、自然環境などの深い知識を生かして地域社会への貢献活動など退職後の二十年、三十年をより豊かに過ごしておられる会員の生き生きとした豊かな生き方を見てきました。その姿こそ、

豊かな生き方を会員一人ひとりに繋ぐことー組織を強めるためにー

来通り、長寿者への祝意・物故者への弔意・会員相互の交流親睦・連携を図り、年金、叙勲等の情報収集・提供を行います。今、沢山の情報で混乱している健康についての内容を整理し、会員が人生をより豊かに健康で長生きできるような確かな情報を収集し共有できるように努力します。

東京都退職校長会 副会長 中岡 啓子

福利厚生部の活動としては、従

主な記事	
P1 巻頭言	P7 各部だより
P2 第六十四回定期総会案内	P9 トピックス
P3 平成29年度「第1回会員研修会」のご案内	P10 支部だより
P4 「東京都教育庁幹部との懇談会」の報告	P13 高齢者叙勲受章会員
P5 業務改善等の検討を振り返って	応募コーナー①
P6 「第二回外部人材活用連絡会」報告	P14 クラブ紹介
	P15 湯島の動静表
	P16 物故者
	応募コーナー②
	編集後記

士は何時もやさしく教育への熱い想いを語ってください「教育ほど確かな投資はない」として学生たちの為に多額な資金を提供し、教育財団を設立してきました。人のために役立ちたいという願いが博士を人類への貢献の実践者として成功に導いてくれたのでしよう。「至誠惻怛」という言葉の一つに「至誠惻怛」という言葉があります。（何事も真心と慈愛の心をもって取り組めば必ずことはうまくいく）という意味です。私もこの言葉を大切にこれからも努力していきます。

平成二十九年度 第六十四回 定期総会案内

第六十四回定期総会を左記のとおり開催します。

『活動に参加し心を通わせ』

絆を強めよう』

各支部の役員及び会員多数のご出席を期待します。

○開催日 五月十日(水)

・受付 一一・三〇

・定期総会 一二・三〇

・会員研修会 一四・二〇

・懇親会 一五・三〇

○会場 東京ガーデンパレス

・JR御茶ノ水駅下車(聖橋口)

・電話 三八一三一六二二一

○懇親会費 七千円

『長寿・荣誉・功労会員』
へのご案内

案内状は郵送にてお届けします。総会の席でお祝いと感謝の意を表します。

万障お繰り合わせの上、ご出席を、お願いします。

総会・懇親会出席申込方法

○総会のみ参加は、会費不要。
○懇親会への参加は、四月二十一日(金)までに、支部長に連絡し、会費は支部長に直接払い込んでください。

○支部長は、懇親会費を支部で一括して、四月二十七日(木)までに「払い込み取扱い票」で、事務局宛にお振り込みください。

○支部に所属していない地方等の会員の方は四月二十四日(月)までに直接事務局までご連絡ください。

☎〇三ー五八一四ー五六一五
○懇親会費を払い込んだ後に、やむをえず、取消されるとき、五月六日(土)までにご連絡いただいた場合は全額お返しします。

定期総会案内図

東京カーテンパレス

〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5
TEL 03-3813-6211 代表

【電車でお越しの場合(東京駅起点)】

- JR 中央線・総武線「御茶ノ水駅」聖橋口(東京駅寄りの改札)より徒歩5分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」より徒歩5分
- 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」より徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「末広町駅」より徒歩8分

【自動車でお越しの場合】

- 渋谷・新宿方面からお越しの場合
神田橋インターから本郷通りに直接出られませんので、矢印に従って本郷通りへ出て下さい。
- 銀座・千葉方面からお越しの場合
神田橋インターの出口から本郷通り聖橋方面へ直接出られませんので、矢印に従って迂回し本郷通り聖橋方面へ進んで下さい。



～ 平成 29 年度 『第 1 回会員研修会』のご案内 ～

東京都退職校長会 生涯学習部

平成 29 年度第 1 回『会員研修会』を下記の要項で実施します。
多数のご参加をお待ちしています。

- ◎ 期 日 平成 29 年 5 月 10 日 (水)
- ◎ 時 間 研修会 午後 2 時 20 分～ 3 時 15 分 (総会終了後)
- ◎ 会 場 【東京ガーデンパレス・天空の間】
JR 御茶ノ水駅・聖橋口左へ 橋渡る 徒歩 5 分

生き生き人生 元気の出る集い

— 健康で長生きしよう! —

講師

医療法人社団 渡辺会 大場診療所 副院長
中野区医師会 副会長
中野区教育委員会 委員

医学博士 渡 辺 仁 先生

私たちの願いである、豊かな『生き生き人生』を送るためには、健康が大切です。健康が生き生き人生の源です。今までも何人かの方々から「お医者さんをお呼びして、健康に生きるための講演会を実施して欲しい」のお声をいただきましたがなかなか実現できませんでした。今回中野区教育委員であり、医師である渡辺 仁先生にお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。豊かな健康生活の送り方をいろいろ教えていただけたと思います。私たち会員の念願の講演会(研修会)です。大勢のご参加をお待ちしています。

「東京都教育庁幹部との懇談会」の報告

―明日の教育界を知るために―

開催日 平成29年2月2日(木)
会場 都庁第一庁舎 教育委員会室
会長 多田 丈夫

恒例の東京都教育庁幹部との懇談会が2月2日(木)午後2時から3時30分まで、都の教育委員会室で開催された。

冒頭、鈴木正一人事企画担当部長より、二つの委託事業である人材バンク事業及び採用前実践的指導力養成講座の実施に關する本会の協力について賛意と激励をいただいた。

続いて、本部役員を代表して私から職務多用な中、懇談会を開催していただいたこと、平素からの都教委の変わらぬご指導とご支援に対して感謝の意を伝えた。双方の出席者の紹介に続いて、本会が提示した、(1)東京オリンピック・パラリンピックに向けての教育施策について(2)基礎学力向上に向けての今後

の教育施策について (3)チーム

学校について (4)主権者教育に

ついて (5)東京都におけるコ

ミュニティ・スクールの設置状

況について (6)学校の管理職の

人材確保について (7)学習指導

要領の改訂とこれからの東京都

の教育施策について の7項目

の質問事項に対し、指導部主任

指導主事(オリンピック・パラ

リンピック教育推進担当) 折本

昭一氏、指導部義務教育指導課

長大和義行氏、総務部企画担当

課長新田智哉氏、指導部主任指

導主事(進学対策担当) 山田道

人氏、地域教育支援部義務教育

課統括課長代理(小・中学校担

当) 加藤 弘氏、人事部教職員

任用担当課長前田泰伯氏、人事

部勤労課長加倉井祐介氏、指導

部主任指導主事(教育経営・教育課程担当) 坂本教喜氏の8名の幹部の方々から最新の資料に基づいた懇切丁寧な説明をいただいた。

折しも、国レベルでは、12月の中教審総会で次期学習指導要領の答申がなされ、2月のパブリックコメントを経て、年度末の3月には「新学習指導要領」が告示される予定になっている。

また、都レベルでは、1月に小池百合子新知事のもとで「東京都教育施策大綱―東京の輝く未来を創造する教育の実現に向けて―」が公表され、東京都のこ

れからの教育の基本的な方向性が示されたばかりであった。その意味からも、きわめてタイムリーな時期に懇談会が行われたと言える。ここで席上、特別に配布された東京都教育委員会会の貴重な資料名を数点紹介する。

①東京都オリンピック・パラリンピック教育 ②民主主義って何だろう? ③有権者になるこ

とについて考えてみよう! ④

選挙啓発カード「あなたの一票

が、社会をつくる」⑤コミュニ

ティ・スクールの市区町村別

指定状況(全国) ⑥次期学習

指導要領等改訂に向けたスケ

ジュール 等である。これらの

貴重な資料は、時機を見て会員

諸氏に紹介したいと考えている。

さて、昨今の予測困難な時代

に未来の創り手を育てる学校教

育の責任はますます増大してい

る。また、誰もが自ら望む教育

を受けられ、可能性を伸ばせる

社会の実現が求められている。

我々は国及び都の教育施策の動

向を注視しながら、明日の教育

界を知り、本会が進める教育支

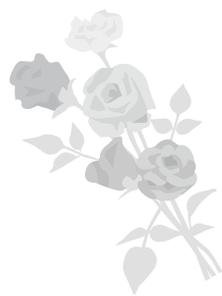
援のさらなる必要性を強く感じ

た時間であった。あらためて、

ご指導いただいた都教委の関係

各位に感謝を申し上げ、報告と

する。



業務改善等の検討を振り返って

業務改善・基金検討委員会 委員長 宇津木順一

本委員会は、平成二十七年度の総会で決定した活動方針「会員数に見合った事業組織や内容等を検証し、改善を図る」

「課題検討委員会を設置し、組

織、事業内容、基金等の総合的な見直しに着手する」に基づいて、平成二十七年九月、会長から8名の委員が委嘱され発足した。

発足に当たって、会長から具体的には4項目の諮問事項が提示され、これを受けて、平成二十八年十月までに18回の委員会を開催し検討を重ねてきた。その結果を、平成二十八年十一月七日、検討委員会報告(答申)として会長に提出した。

平成二十九年一月十二日の委員会では、会長に各委員から検討経過や報告(答申)内容等について補足説明し、委員会の任務を終了した。この一年余、各委

員は諮問事項に現状や課題、改善案等を活発に議論し検討を進めてきた。検討内容については、随時、会報でお伝えしてきたとおりである。

各諮問事項の検討に当たって、毎回必ず議論が集中したのが会員数の問題であった。十年前の平成十八年の会員数四九九一名に対して、現在(29・1・17)の会員数は三一五〇名である。

会員の高齢化の中で、亡くなる会員、活動が難しくなり退会される会員が多い。また、再任用制度等が定着し新たに入会する会員が少なくなるなど、今後どのように会の維持継続を図るかという問題意識からであった。

現状を踏まえて、本委員会では、「新入会員の支部所属」「新しい会員制度の導入」「支部間交流と会員勧誘組織」等の改善策を提言した。

なお、昨年十月、全国連合退職校長会関東甲信越地区連絡協議会群馬大会(一都九県参加)

にオブザーバーとして参加する機会があった。各県の報告では、ほとんどの県が一〇〇%近い加入率であった。このことは、校長職を果たしたという自信と誇りが背景にあり、校長職の重みが浸透しているように思われた。

また、大会のテーマは「存在感ある退職校長会を目指して―会員の交流活動と社会貢献活動の推進―」であった。東京都では、都教委の委託事業を通しての教育支援事業や支部での活発なクラブ活動や研修行事など、社会貢献活動や交流活動に多くの会員が参加している。このよ

うな地道な活動を一層推進し、会員意識を高め、会員であつてよかつたという実感が持てるようにし、会の存在感を高めることが、制度等の改善とともに重要であり、支部間の交流の促進や都教委との連携の強化等につ

いて提言した。

もう一つ、議論に時間を割いたことは、会員減少に伴う会費収入減の問題であった。活動方針「会員数に見合った事業組織や内容等を検証し、改善を図る」にどう応えるかということである。この課題については、本部の役割について検討するとともに、本部でなければ実施できない事業、本部で行うべき事業という観点から、本部事業の精選について検討した。併せて会費収入の減の中で、収入に見合った組織運営体制について検討し、一層効率的な会議の運営など、財政の健全化について提言した。

答申の扱いについては、今後、作業部会が設置され検討されることになるが、会員の皆様が内容についてよく理解され、実現に向けて前向きに検討されることを願っている。

平成二十八年年度

「第二回 外部人材活用連絡会」報告

人材バンク受託事業運営特別委員会

本年度の第二回外部人材活用

を設定した。

連絡会が1月25日(水)午後2時～4時に、都教職員研修センター一階111研修室で開催された。

その際、協議が効果的に行われるように、区部と市部を組み合わせ、5グループで行った。

第二回連絡会の特徴は、「アドバイザーの活動の実際」につ

・協議時間 60分間を予定

いて、アドバイザーの河合美津江氏(荒川区)、畠山正樹氏(青梅市)が具体的に報告された。

・協議主題 本年度のアドバイザー活動の実際と今後の課題

それを踏まえて、地区別協議会を行い、討議された協議の観点を詳しく記録し集約した。

・協議の観点 本年度を振り返って ○よかった点 ○改善すべき点 ○その他

以下、その概要を報告する。

◆よかった点

1. 地区別協議会の要領

◆5グループに分かれて協議

協議は、アドバイザーの活動を区部・市部に分け、それぞれの地区ごとに地区連絡員を配置し、連絡調整が円滑にできる体制を整えた。今回の連絡会では、メイン内容として地区別協議会



2. 協議記録の分析・考察

①人材バンク事業に対しては、

感謝している学校が多いことが

分かってよかった。その理由と

して、パンフレット配布は極めて

効果的であり、且つ、必要な

情報提供であることも分かった。

②区市教委の対応が良好で、ア

ドバイザー業務の信頼度の高さが

分かった。

③後期の学校訪問の例として、

新任の校長、副校長の学校訪問

等を本年の受託事業内容の工夫

として紹介されたことで、活動

の幅が広がった。

④校長会、副校長会での簡潔な

説明が評価され、アドバイザー

業務の工夫として認められた。

◆今後改善すべき点

①地区別協議会すべてのグルー

プが、「パンフレットと人材バ

ンクニュース」の資料配布時期

を更に早めてほしいと切望して

いることが分かった。

②第一回外部人材活用連絡会開

催時期が6月では遅い、配布資

料を早く用意してほしいとの要

望には、今後の運営努力が必要である。

③HP内の一覧表の出し方に工夫がほしい。例えば、校種別で

学校別に出る部活動を、教科別

年代別などに分かれるようにし

てほしいとあるが、副校長の作

業上のお願いの声であることが

分かった。

◆その他

①人材バンクの多様な活動例を

示していきたいというアドバイ

ザーの強い気持ちはあり、それ

に依る資料配布等の対応に努

める必要がある。

②人材活用している学校が分か

るとアドバイザー活動がしやすい

ことが分かった。

今年度の人材バンク委託事業

は、三月末日をもって終わる。

今回出された改善点を活かし、

よりよい普及・広報活動ができ

るよう業務を遂行する。

(文責 林 忠義)

各部だより

入会勧誘の促進を

総務部長 林 和明

本年度の総務部の事業計画の一つに「未加入者の情報を的確に提供し、入会勧誘の促進に努める」とある。

総務部の活動は、総会、支部長会等の大切な会議を円滑に運営するよう努める他、新会員の加入を願って、その資料作りのため、日々努力している。

この一年の活動を振り返ってみると、平成二十九年三月末日をもって退職予定の、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の校長先生方の名簿を作成し、それを全支部長にお渡しすると同時に、退職予定の一人おひとりに、東京都退職校長会の活動内容・目標・その他の案内等を一覧にしたリーフレットと入会申し込み書等を

一つの袋に入れ、それを全支部長に送付した。

また、年賀状を退職予定の校長先生方に差し上げ、本会への入会についての心づもりを持っていただくように毎年の行事としている。

今年度は特に、五年に一度の全体会員名簿作成の年である。出来るだけミスがないよう、部員一同緊張感をもってその任に当たり、全支部長のお力添えもいただいている。

会計部の活動

会計部長 小久保正己

本年度の会計部を担当しました。多田会長のご配慮もあり、元会計部長で現事務局、三辻局長の協力を得ながら、節約を基本とした予算の執行を心掛けてきました。皆様のご協力に心より感謝します。

会計部では、会計簿の最も基本となる月々の「出納簿」を適正に整理、管理をしてきました。

具体的には、各部員は、支払い明細書や領収書のチェックや支部長会等対象が多数の会合の交通費の支払い業務に従事し、精力的に活動しました。

一般会計の収入の大半は皆様から頂く会費です。十二月の中間報告で数支部が未納ということが分かり、一月の段階で支部長宛て未納の件をご連絡し、すべての支部から納入いただきました。支部長には大変失礼なお願いをいたしましたのに直ぐに対応して下さい感謝申し上げます。

さて、会費の納入状況を観てみますと多くの支部で、会員数より会費納入人数が下回っています。このことは、各支部それぞれに様々な事情があつてのことと推察します。

予算編成の際、会費納入人数の見積もりが甘く、実際には数十名少なかったこともあり、収

入が予算額より減少してしまいました。

来年度の予算編成の際、会費納入人数をさらに内輪に見積もるようにならなると痛感する次第です。

—おしらせ—

東京都退職校長会写真クラブ (TKC)

第77回 写真作品展

◎会場 なかのZERO 西館ギャラリー (1・2階) (旧 中野文化センター)

JR・中野駅南口・線路沿いに新宿方向へ8分

●会期 平成29年4月1日(土)～4月7日(金)

●開場時間 午前10時～午後5時30分

但し1日(土)は13時から。7日(金)は14時まで。



『会員のための広報誌』

会報部長 和田 弘

本年度も会報は4回発行しました。支部長会が実施される期日に併せて発行しなければならぬので、最終校正でテンヤワンの大騒ぎを演じたこともありました。

会報を発行するごとに編集会議を5回実施しています。第一回編集会議は記事に「何を取り上げるか」と頁の割付けが主になります。二回目からは校正が主な会議の内容になります。

「校正」で最大限に注意することは個人名の誤字点検等です。そのため「校正は必ず三人以上で」を念頭に、会員名簿を片手に校正に当たっています。今後にも細心の注意を払い「校正ミス皆無」を目標に会報部一同、常時声を掛け合っています。

さらに、総会や諸会合で講師等が話された内容を概略して掲載する場合、話された方に点検

校正をお願いすることも励行しています。

平成二十七年度七月号から「目次」を一頁目に掲載することになりました。好評ですので続行します。

また、会報は会員への情報提供が主な目的ですので、本部の情報情報は勿論ですが、各支部の活動状況（例、作品展、研修会等）を掲載し「会員の声」欄にも頁を多く割く努力をしています。また、支部だよりの中から記事の一部をトピックスとして紹介し始めました。ご理解とご協力をお願いします。このように「会員のための広報誌」を目標に編集を進めて行きます。投稿欄が定着しつつありますが、投稿が益々増えることを期待しています。



『生き生き人生を目指して』

生涯学習部の活動

生涯学習部長 齊藤徳蔵

本年度も多くの会員の先生方にご指導・ご協力をいただき大変充実した活動ができました。

生涯学習部の主な活動は

- ①クラブ活動の充実
- ②年二回の会員研修会の企画・運営実施
- ③「東京発見新散歩」の実施です。

九月・二月にクラブ委員長会を実施しました。高齢化による会員数や、参加者の減少等の悩みが各クラブより出ました。また、その対策等について真剣に討議しました。生涯学習部員がクラブ一つずつ担当して、参加したり、クラブ活動の活性化について話し合ったりしました。

第一回会員研修会は五月十三日定期総会の後に実施しました。教育支援・文化活動の紹介について三つの支部に発表してい

たきました。

・目黒支部 松本保枝氏

『支部の教育課題研修会』

・日南支部 寺沢史氏

『十一年間の教育懇談会』

・千葉中部支部 佐々木勇氏

『童謡・唱歌』です。

三支部とも素晴らしい発表でした。

第二回会員研修会は十一月二十一日『支部における教育支援活動』をサブテーマにして三支部に発表していただきました。

・千代田中央支部 鈴木正孝氏

『地域から学ぶ中央区の歴史』

・北多摩中部支部

鎌田敏雄氏・保泉亜弥子氏

『製本クラブの活動とブックカバー作り』

・八王子支部 渡辺和則氏

『八王子支部のクラブ活動』

です。大勢の参加者で大盛況でした。

『東京発見新散歩』は三月十三日岩崎庭園等を見学しました。

「心がこもった

福利厚生部の活動を」

福利厚生部長 守屋龍男

福利厚生部は主に次の4項目の事業に取り組んでいます。

○会員の親睦と互助に関するこ

と
新年祝賀懇親会や定期総会後の懇親会の運営を通して、会員の皆様方のさらなる親睦を図ってきました。

この活動については、監事や各支部長、支部会員の皆様方のご協力とご尽力のお蔭で、毎回盛会で素晴らしい成果が挙がっています。この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

○会員の慶弔に関すること

白寿（99歳）、米寿（88歳）、喜寿（77歳）を迎えられた方々に寿詞とささやかなお祝いの品をお渡ししています。

また、物故会員様への香典等を当該支部長の皆様に発送しています。（原則として、毎月第一火曜日にその事務を行っています。

ます。）

長寿会員の方々の調査や香典の立て替え等で各支部長には多大なご迷惑をお掛けしています。いろいろ有難うございました。

○叙勲に関すること

春・秋の叙勲および高齢者叙勲（88歳）の受章者を調査し、会報でお知らせしています。

ただし、高齢者叙勲については各支部より報告のあった方のみ会報に記載することになっていきます。

高齢者叙勲を受章された方は必ず当該支部長へ連絡をお願いします。

○年金に関すること

毎年、退公連との合同研修会等で、社会保障制度（年金・医療・介護等）について学んでいます。有益な情報等は会報でお知らせします。

今後は、高齢の会員の皆様方により一層目を向けた活動を考えていきます。

トピックス

コラム

旅の花・庭の花

志村 秀男

タマノカンザシ・キキョウ

私の庭に紫のキキョウと白のキキョウがある。宿根草の一種であるが、種をまいてもその年に花をつける。第一回の花が6〜7月にかけて開花する。はじめは紫の花、次に白い花が咲いた。秋の七草の一つなので、特に大事に株を育てている。

7月に咲き終わったとき、種袋を摘みとり、追肥をお礼肥としておくと、秋に咲く側芽が伸びていく。この花は万葉の頃から咲き「秋の七草（朝顔の異称）の一つになつてゐる」

花弁は5枚鐘形で青紫の花が開く前は、5枚の花弁が寄り集まって、風船のように見える。

開花すると一段と美しくなる。花が散ったあと花柄を摘んでおくと、新しい芽が伸び9月になると再び開花する。

地方では仏前に供えるので「盆花」と呼ぶ所もある。



西多摩支部「〇三号」コラムより

花の形や色彩が美しいので、家紋の模様に使われる。

キキョウは日本各地の温帯に生育している。盗掘で最近では草原に自然に見られなくなつた。

(2)タマノカンザシ

9月1日庭の花を整理していたら、名花の丁字草の枝をかき分けて花茎が伸び、夕方になると素敵な香りを漂わせ、庭いっぱいに広がる。朝になると萎んでしまふ一日花である。私の役目は終わったと言わんばかり、うつ向いてしまふ。たくさん蕾をつけるので3週間位花を賞でることになる。

中国原産の山草で、この仲間

のトクダマと並んで、美人さんの花の一つである。大きな鉢に栽培しても5〜6年は根は伸びていく。
ギボウシは橋の欄干の柱の頭につける「かざり」に似ている。野山に生えるギボウシ、コバノギボウシ、イワギボウシ。ヒメイワギボウシなどがある。



支部だより

かわりを深め

学び合うなかま

北支部長 大崎美代子

(1) 北支部の概要

都退職校長会北支部と退職公務員連盟北支部は、常に一緒に活動し、役員会も合同で実施して、連携が密にとれている。さらに顧問の先生方が助言を惜しまず、温かく見守ってくださいている。

27年度は3名、28年度は4名の新入会員を迎え、現在の会員数は49名である。現職時代の任地はどこであれ、東京の教育を支えてきたという誇りを持ち、「志をつらぬきて道歩みきし、同胞集いゆめを語らん」(北支部会員作)を心に生き生き人生を送りたいと活動を進めている。

(2) 北支部の主な活動

① 北区の魅力の再発見

生涯学習の時代にあって、学びの心を大切にしたいと「地域

を知る」ための巡検を行っている。

計画の中心を担うのは、副会長のS会員で、26



ボランティアガイドの説明

年度は滝野川、27年度は赤羽、28年度は西ヶ原をボランティアガイドの案内で散策した。29年度は王子地区を予定している。

北区の名所旧跡にふれ、台地・低地と変化のある地形を体感し、改めて北区の住みやすさと交通の便利さを実感している。

② あすか作品展

緑の木立に囲まれた中央公園文化センターを会場に、会員の日頃の活動成果を発表し豊かな生活設計に資すると共に相互の親睦を深めることが目的で、28年度は24回目を迎えた。絵画、書、写真、陶芸、ちぎり絵、制



中央公園文化センター

作等の力作が並ぶ。会場配置図は顧問のN先生にお願いしている。作品展担当の副会長であるD会員を中心に、小委員会を設け細部にわたって打ち合わせを行っている。昨年は出品者21名、出展数55点、参観者110名で、作品の前に会話が弾み、和やかな中に作品展が終了した。

③ ボランティア活動

過日の新聞に「人生の師希薄な時代」という記事が出ていた。会員の中には各自の持ち味を生かしたボランティア活動に積極的に取り組んでいる事例も多い。

様々な活動そして

楽しかった日帰りバス研修

練馬支部長 内匠英夫

練馬支部では数多くの行事を行っている。その中でも楽しみの一つにバス研修がある。今年のは埼玉熊谷の国宝、妻沼聖天山歎喜院を訪れた。ここは熊谷の東照宮と言われている様に日光の東照宮と似ており、すばらしい建物であった。以前このバス研修は年二回、春は「日帰り」、秋は「一泊」で実施されていた。会員減や行事の精選で平成十五年から年一回になった。これ以外にも沢山ある。

春の総会、秋の長寿叙勲祝賀忘年会がある。この会の一部はしっかりと行い、二部では酒も入り無礼講でカラオケ大会さながらの盛り上がり、何とも楽しい会である。今年の総会には、多田丈夫会長にもご出席賜わり歌の披露も頂いた。その他にはクラブ活動がある。東京都退職



妻沼聖天山歎喜院

校長会は七部会だが練馬支部は四部会あり、私は「歩こうクラブ」に所属しているが、和田弘先生を中心に年四回、間もなく第百回の記念大会が迫っている。写真部は練馬区民報にPRなどして大泉学園駅前での展覧会を行っている。囲碁部は都の会長

も務められる立谷博美先生の指導の下、大会も年数回開かれ充実している。ゴルフは好きな者同士が集まり、コンペを開いている。他には地区別懇談会と称し、小さなグループに分かれそれぞれが好きな時間と場所を選んで

懇親会を開き支部から僅かながら助成金も支給される。しかしながら楽しい事ばかりではない。難問も多い。会員数の減少に伴い会費の値上げを検討中で近々500円アップが実施されるかもしれない。また、行事の精選は仕方ない事だろう。講演会の中止、クラブ助成金の廃止等寂しい辛い事ではあるが、これらに打ち勝ち明日の退職校長会を切り開いて行かねばなるまい。

ある一日

府中支部長 延藤君雄

支部の原動力でもあり、将来を担う人材でもある退職校長会の三月入会予定者への訪問記を記したい。

昨年場合は、退職予定者の勤務校に平成二十七年三月中に訪問し退職校長会府中支部の現状を説明し入会をお願いして回る。本年は昨年の学校訪問から、退職予定者宅の家庭訪問に切り替えました。その理由の一つは退職後に支部会員になっていただいで、このような活動をしている事を理解していただきたいと説明したい旨を永年苦勞をともしした奥様に直接伝える事でした。

実際に先生方の自宅訪問で困った事は、殆どの地域で町の人を見かける事が少なく、聞くこともできない状況、ご自宅が分からないことであった。幸いスマホを頼りに街を巡ったもの

の肝心なところでスマホも役に立たないこともあった。
退職校長会府中支部
(平成二十七年主な行事)

五月 ○定期総会
○退公連府中支部との合同役員会

十月 ○日帰りの研修会
○教育懇談会

十一月○あの日の時
十二月○小中学生の人権作文発表会

一月 ○新年会

以上退職校長会の主な行事である、特に私個人の印象に強く残っている行事としては、十一月に行った「あの日の時」の野田政和先生の講演「国学者依因貞鐘の生涯」と題した講演である。

生い立ち

○天和元年（一六八一）三月十二日府中本町の旧家五十嵐家に生まれる、父五十嵐義政は是政村の出身。

○諱は貞鎮、字は伊織、号は偏無為、通称定右衛門

○九人兄弟姉妹の末弟（兄4人は早世、兄妹は出家）父母ともに仏教に信仰厚い

○「人となり温雅、禅も楽しみ静を好む」神、儒、仏の学問に没頭する

国学者として名をなす

○上野国沼田藩主黒田豊前直邦との深い交流

○大成経の註解を將軍吉宗に献上する

○輪王寺を宮公遵法親王の命により大坂四天王寺へ神事祭法を伝える

○大成経を經典とする太子流神道（物部神道）を右大臣九条尚実に伝授

○伝奏姉小路公文を通じて桃園天皇へ著作を献上する

以上

支部活動を通じて

生きがいのある人生を

千葉北部支部 永嶋達夫

当支部は流山市、我孫子市、柏市、鎌ヶ谷市、野田市、白井市、印旛郡に隣接の茨城県を加えた在住者で現在六十七名。今後も更なる加入者の増加を期待したい。

支部の活動としては年一回の総会・懇親会。役員会は年四回で目下十三名。その第三回目は引き続き「ふれあい昼食会」を広く全会員の自由参加で、ほぼ二十余名。自己紹介等を含めての二時間は気楽で和やかなひと時として定着してきた。

クラブ活動としては地域探訪。本年度は昨秋に古利根地区を散策。先祖代々の旧家では地元の昔からの様子などを伺って印象深いものがあつた。十四名参加。その他では、俳句・写真・歌の会など参加者は一桁ながらも愛好者の深い興味関心により続けられている。俳句は年二回お隣

りの西部支部とも交流し、作品を会報で紹介。写真は先般小金城趾に近い本土寺（あじさい寺）で開催。近くのお店で昼食をはさんでの懇談。また囲碁クラブは無いものの、やはり西部支部参加の会員もあるとか。総会の会場にはピアノがあるので、その後の懇親会には演奏家も呼びびして全員合唱など、歌の会の会場ともなっている。

支部の会報は年二回発行。毎回会員よりの「ひと言」として近況・健康・趣味・提言などを自由に書いてもらって掲載。半数以上の方々から寄せられ、紙上コミュニケーションとして集まりには参加できなくても全員相互の交流に役立ち、会報の果たす大きな役割となっている。

内容も「ひと言」とはいえ字数制限なしでハガキに書ける範囲として三百字以上の方も何名かあつて充実したものが見られる。会員の年齢は八十歳以上がやや多くなってきたが、支部

活動には熱心な方が多い。これはそれより若手の方々には再任用その他の活動にかかわっているということがあると思う。かと言つて、当初は会員同志の馴染みが薄い中で年々歳を重ねるうちに、次第と人と人とのつながりが深まってきている。その意味から、やはり退職時の早い時期から入会して交流を深めていくことが大切と思う。

加齢と共に次第に身の回りの人たちとのつながりが少なくなつていく折に、この退職校長会は同じような経験や生き方をしてきた親近感を生かしながら、より充実した高齢化社会の一員としての生きがい求められる貴重な場となっているであろう。

平均年齢は伸びているがテストの平均点同様実態に乏しい。寿命は他との比較ではなくその人自身の絶対的なもの。悔いのない人生でありたいものである。

高齢者叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。
(29年3月12日まで本部に届け出があった方々)

瑞宝双光章 9名

古川 純市 (目 黒)

小泉 高義 (世田谷)

城崎 勇 (中 野)

駒井昭次朗 (北多摩中)

大柴 昭三 (狛 江)

島貫 榮一 (千葉西)

新澤 勝治 (千葉西)

萩原 祥宏 (埼 玉)

河原 俊夫 (埼 玉)

応募コーナー①

短 歌

菊の花握りしままに眠りいる

かすかにゆるみて掌よりこぼれる

疲れ果て幼き声の泣きやみて

涙をためて寝息をたてる

何事もおのれで為したき幼子は
スプーン握りて朝食たべる

中野支部 田中弘志



東京五輪マラソンコース測れるは

元長距離走者府八小日教諭ら

二〇二〇年、再び東京オリンピック。当時、測定は竹の物差し使用とのこと。

あらたまの年の初めの芝原を踏み
行く子らの幸く夢あれ

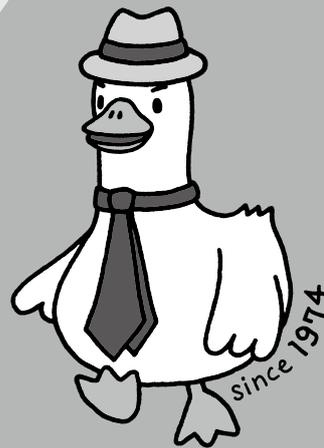
子らを迎える、柔らかな芝生の校庭、踏みしめる子ら。隔世の感あり。

医師のきみ己が病の遺伝子治療
そつと語りし還暦の会

しかしながら、先進医療も効を奏せず幽明界を異にする。優しかった才人のきみ。

府中支部 和知光儀

選ぶなら、がんの治療に
幅広く対応した
がん保険。



はじめてダック

通院・入院・抗がん剤・診断一時金

新 **生きるための
がん保険** Days

女性特有の
がんにも
手厚い

新 **生きるための
がん保険** Days

すでにアフラックの
がん保険に
ご契約の皆様

新 **生きるための
がん保険** Days+

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

三泉トラスト保険サービス株式会社

〒101-0054 千代田区神田錦町3-11-1

☎0120-357-212 FAX 03-3233-6754

◎商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。

(引)受保険会社

「生きる」を創る。



アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第一法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル19F
Tel.03-3344-1446 Fax.03-3348-0565

<同好の仲間と楽しく過ごしませんか>

クラブ紹介

= 入会を歓迎します ご希望の方は委員長までご連絡ください =

囲碁クラブ

- 委員長 佐々木和廣 (電話：090-1999-9047)
- 会場 ナーベル (お茶の水)
- 大会 年2回 (6月、11月)
- 錬成会 毎月第1月曜日 (休日のときは次週) ナーベルお茶の水にて
- 会費 年間1,000円、参加費500円

写真クラブ(T・K・C)

- 委員長 小阪 順二 (電話：03-3364-3237)
- 撮影会 年8回 (バス1泊撮影会1回を含む)
- 写真展 年2回 (なかのZEROで開催)
- 研究会 年1回講師による講評・自評会等 (作品研究と撮影技術研究)
- 懇親会 写真展のオープニング・パーティー
- 会費 年3,000円



園芸クラブ

- 委員長 天野 正忠 (電話：03-3752-3810)
- 会場 新宿区立環境学習情報センター (エコギャラリー新宿2階)他、見学地
- 活動 春季と秋季に年間2回の作品交換会 園芸に関する施設や教育現場の見学会 栽培に関する懇親会や栽培実習の会
- 会合 年間5回
- 会費 年1,000円



釣りクラブ(千代田会釣り部)

- 委員長 藤本 美男 (電話：042-375-0548)
- 釣り場 金沢八景、江ノ島、平塚・浦安の各港から東京湾・相模湾へ
- 釣り物 シロギス・アジ・イサキ等
- 会合 年7回の釣り例会
- 特別会 年2回の1泊釣り会
- 釣り大会 年1回のアジ釣り大会
- 懇親会 研究・懇談会。新入会員歓迎釣り会
- 会報 年5回発行
- 会費 年2,500円



絵画クラブ(水墨みすみ会)

- 委員長 東條 康永 (電話：048-873-5727)
- 会場 南大塚地域創造館
- 会合 月1回 (8月は休み、春と秋に都内公園等でスケッチ会を実施)
- 学習内容 水墨画・基本技法の学習
- 方法 課題を設けて、作品に取り組む
- 作品展 毎年開催 (新宿エコギャラリー)
- 講師 なし (会員相互の連携による)
- 会費 年10,000円
通信費 年2,000円



短歌クラブ

- 委員長 五味田 稔 (電話：0284-42-0190)
- 会場 東京都退職校長会事務局 (地下鉄千代田線湯島駅下車徒歩5分)
- 会合 原則として、毎月第2金曜日 (8月を除く)
- 方法 短歌二首提出 互評と講師による指導
- 講師 岡崎 洋次郎 先生
- 会費 月1,000円 (必要に応じ)

ソフトテニスクラブ

- 委員長 吉田一夫 (電話：03-3712-3352)
- 会場 杉並区営松ノ木テニス①②コート
① JR高円寺駅南口を出て右へ10m、永福町行きバスに乗車
② 井ノ頭線永福町駅北口を出て井ノ頭通りを渡り左へ10m、高円寺駅行きバスに乗車
①、②共に、途中の都立和田堀公園下車、北へ徒歩3分
- 練習日 月数回、練習可 (2か月前に通知)
- 練習 毎回ゲームを中心に行う
- 会費 年2回部内大会 (6・12月)
3,000円 (年間)



湯島の動静

2月

都教育庁幹部との懇談会

福利厚生部会

正副会長会

業務改善作業部会

総務部会

人材バンク委員会

会報部会

〔短歌クラブ〕

全連退常任理事会

関プロ準備委員会

生涯学習部会

企画委員会

役員選考委員会

採用前受託委員会

会計部会

正副会長会

役員選考委員会

3月

会報部会

関プロ準備委員会

役員選考委員会

福利厚生部会

会報部会

4月

業務改善作業部会

〔短歌クラブ〕

人材バンク委員会

生涯学習部会

企画委員会

役員選考委員会

会報部会

会計部会

正副会長会

総務部会

支部長会

福利厚生部会

正副会長会

生涯学習部会

企画委員会

総務部会

監査会

〔短歌クラブ〕

評議員会

正副会長会

企画委員会

会計部会

5月

第64回【総会】

第1回会員研修会

東京都退職校長会会員の皆様へ

昭和51年4月に東京都退職校長会の会員の皆様の福利厚生の一環として団体契約を頂戴しております。会員ご本人様はもとより、ご家族、ご親戚の方々もご利用いただけます。

事前相談

どんなに些細と思われることでもお気軽に

ご葬儀

寝台自動車、火葬場式場、供花・枕花のお手配

ご法事、葬儀後のお手続き

家族葬から音楽葬など、あらゆるご葬儀を承っております。年中無休・24時間体制、どのようなことでもご相談ください。

フリーダイヤル ☎0120-849544 をご利用ください。



株式会社

東京都民互助会

東京都民互助会

検索

http://www.tomin-gojyo.co.jp

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8 TEL.03-3396-7231 FAX.03-3395-8874

(平成29年3月10日届出現在)

物故者		氏名		年月日		支部名		校種		年齢		頁										
北村	喜信	29	1	17	地方	小	95	19	(25)	井上	翼	29	1	17	町田	中	92	66				
上野	義臣	29	1	13	八王子	中	89	56		宮川	富士夫	29	1	17	神奈川	小	85	132				
高橋	實	29	1	9	神奈川県	小	91	134		倉橋	宗作	29	1	17	中野	中	88	25				
萩原	祥宏	28	12	28	埼玉	高	88	128		佐藤	憲明	29	1	18	足立	小	83	48				
一之瀬	藤彦	28	12	27	板橋	小	76	38		船越	征夫	29	1	18	北多摩西	中	78	93				
鷺澤	巖夫	28	12	27	中野	中	89	24		加藤	忠幸	29	1	19	千葉西	中	84	116				
中田	良平	28	12	19	町田	小	86	63		栗原	仁	29	1	20	西多摩	中	97	106				
笹井	透	28	12	17	品川	小	89	10		新澤	勝治	29	1	21	千葉西	小	88	118				
林	宗慶	28	11	29	西多摩	中	81	101		長里	繁仁	29	1	27	八王子	高	96	59				
井上	輝夫	28	11	29	北多摩中	中	86	82		佐藤	彦信	29	1	30	練馬	高	97	45				
木村	道之助	28	11	12	渋谷	小	92	23		水上	義博	29	1	30	世田谷	小	72	17				
江原	秀子	28	11		千葉西	幼	95	118	(27)	吉野	泰一	29	1	31	西多摩	中	89	102				
豊泉	定二郎	28	11	2	北多摩西	小	89	20		丸山	秀夫	29	2	1	千葉西	中	87	115				
鈴木	好松	28	10	26	西多摩	小	92	105		内藤	滋雄	29	2	11	練馬	小	89	46				
小島	勤	28	9	21	町田	高	79	66		伊藤	弘	29	2	12	千葉西	小	87	117				
穂積	昭三	28	8	21	西多摩	小	87	104		太田	昭吉	29	2	13	狛江	小	89	92				
渡邊	勉	28	4	2	千葉南	小	87	109		本堂	元規	29	2	14	西多摩	中	74	18				
井上	哲朗	28	2	4	北	中	89	32		工藤	優毅	29	2	15	世田谷	小	86	22				
氏名	年月日	支部名	校種	年齢	頁	井上	翼	29	1	17	町田	中	92	66								
謹んでご逝去を悼み ご冥福をお祈り申し上げます														宮川富士夫		29	1	17	神奈川	小	85	132
														倉橋宗作		29	1	17	中野	中	88	25
														佐藤憲明		29	1	18	足立	小	83	48
														船越征夫		29	1	18	北多摩西	中	78	93
														加藤忠幸		29	1	19	千葉西	中	84	116
														栗原仁		29	1	20	西多摩	中	97	106
														新澤勝治		29	1	21	千葉西	小	88	118
														長里繁仁		29	1	27	八王子	高	96	59
														佐藤彦信		29	1	30	練馬	高	97	45
														水上義博		29	1	30	世田谷	小	72	17
														吉野泰一		29	1	31	西多摩	中	89	102
														丸山秀夫		29	2	1	千葉西	中	87	115
														内藤滋雄		29	2	11	練馬	小	89	46
														伊藤弘		29	2	12	千葉西	小	87	117
														太田昭吉		29	2	13	狛江	小	89	92
														本堂元規		29	2	14	西多摩	中	74	18
														工藤優毅		29	2	15	世田谷	小	86	22
														高橋規		29	2	17	北多摩西	高	80	93
														市川壽夫		29	2	18	西多摩	小	94	103
														林正明		29	2	24	葛飾	小	63	17
														八木光次		29	3	10	西多摩	小	80	100

物故者



応募コーナー②

俳句

春三題

過疎の里花嫁来たり山笑ふ

座るまで待つて発車のバスうらら

春めくや女子高生の通学路

杉並支部 岸上 修

作品募集

短歌・俳句・川柳（ひとり三首まで）・コント（百字程度）等を葉書でお寄せください。

次号より「書画・写真」等の作品も掲載いたします。

作品の写真またはデータをお送りください。

掲載時の大きさ等は割付状況により異なることをご了承ください。

送り先 〒113-0034

東京都文京区湯島4-12-3

日公連ビル5F

東京都退職校長会 会報部

お詫びと訂正

前号195号の物故者の欄で高橋定一様の年齢が99歳になつていましたが87歳の間違いでした。謹んでお詫び申し上げます。（福利厚生部）

編集後記

○『新聞は世界からとどく私への手紙』は素敵な言葉なのでこここのところ平和にも関わらずような怖いニュースも散見します。それらにもめげず会員の皆様はお健やかのことと存じます。ここに平成二十九年四月の会報をお届けします。○巻頭言にもありますように本部は新年度の準備に入りました。その様子の一つをお伝えすべく総務部をはじめ全担当者から年間総括の報告を頂きました。○今号も楽しく活動されている支部のたよりが届きました。応募コーナーも短歌に俳句が加わりにぎやかになつております。今後とも会員の様子がたくさん見えて来る会報を目指しますので協力お願いします。（梅津通郎）